

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	1	はつらつ・雄武	整理番号	11
基本施策	4	商工業の振興	評価責任者	産業振興課長 石井 弘道
単位施策	1	事業所の体力づくりへの支援		

1 施策の概要

基本方針	商工会等と連携し、町内企業の技術開発、情報化・近代化、環境対策等への指導や経済的支援を進める。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	商業においては、大型小売店への消費流出が一段と進んでいる。製造業においては、燃料価格の高騰など経営環境は厳しいことから、経営の安定対策として融資制度による支援を行っている。	商業においては、大型小売店への消費流出や域内人口の減が一段と進んでいる。製造業においては、燃料価格の高騰など経営環境は厳しいことから、経営の安定対策として融資制度による支援を行っている。また、水産加工品の海外需要拡大など明るい材料もみられる。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	商業においては空き店舗対策や、製造業においては、より一層の付加価値を高めた雄武ブランドの確立や、建設業においては、異業種への進出を加速させる必要がある。	商業においては空き店舗対策や、製造業においては、より一層の付加価値を高めた雄武ブランドの確立、建設業においては、異業種への進出を加速させる必要がある。

2 基本施策指標

指標1	指標名	製造品出荷額（食料品＋その他）						
	定義等	工業統計による製造品出荷額						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値	152億円	151億円	129億円	128億円	（未公表）		180億円
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	商工業振興事業	商工観光係	10,000	A	継続/現状維持	A
②	中小企業等振興事業	商工観光係	211,841	A	継続/拡充	A
③	商業活性化推進事業	商工観光係	1,200	A	継続/拡充	A
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	中小企業の経営安定を図ることは必須であり、商工業の経営健全化を推進する上で妥当と判断する。
② 有効性	A	商工業者への継続的な支援をすることが有効であると判断する。
③ 効率性	A	細部にわたって精査をしており、予算の有効的な活用を図っている。
④ 公平性	A	本施策は商工業の振興に、有益的に活用されている。
⑤ 町民意見の反映	B	町民の意見を聞く場を設けていないが、関係団体との協議の中で反映されていると判断する。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
現状の経営環境から判断し、継続的な支援をすることによって、一定程度の経営安定化が保たれている。	同左	

今後の方向性	今後の方向性	今後の方向性
継続/現状維持	継続/現状維持	
景気動向にもよるが、事業所の経営環境は今後においても厳しい事が予想されることから、継続していく必要がある。	同左	
*今後の方向性の区分 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		